

Mis días en México

4 月に入り、研修期間も残り少なくなってきたことを実感しています。メキシコでやり残すことがないよう、さまざまな場所に足を運び、多くのことを経験したいと思っています。

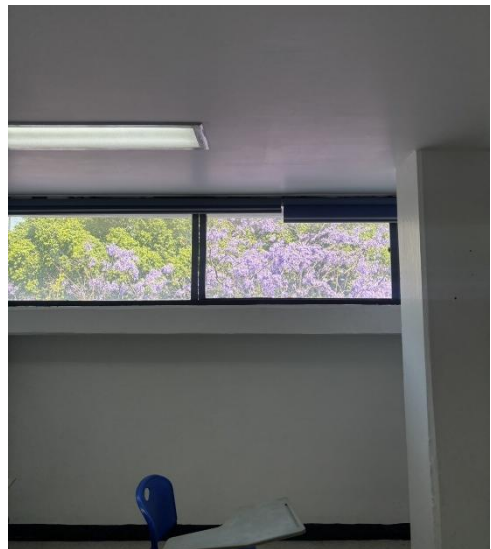
1. ハカランダ

日本では桜が満開のこの時期、メキシコでは「ハカランダ」という花が美しく咲き誇っています。ハカランダは南米原産の植物ですが、20 世紀初頭に日本から移住した松本辰五郎さんがメキシコでこの木を植えたことがきっかけで、広く知られるようになりました。以来、春になるとシティをはじめ各地で紫色の花を咲かせ、街を彩る風物詩になっています。

CEPE や UNAM のキャンパス内でも多くのハカランダの木を見ることができるため、授業終わりには友人と一緒に、お花見をして楽しんでいます。



(左)UNAM 中央図書館とハカランダ



(右)CEPE の教室から

2. Feria de San Marcos

4 月中旬にはセマナ・サンタ(聖週間)があり、CEPE も 1 週間の休暇となりました。この期間を利用して、メキシコ国内最大級の規模を誇るお祭り「フェリア・デ・サン・マルコス(Feria de San Marcos)」が開催されていたアグアスカリエンテスを訪れました。

このお祭りは約 3 週間にわたって開催され、通常は路上での飲酒が禁止されているメキシコにおいて、フェリア期間中は会場内に限り飲酒が認められています。通りではマリアッチ楽団などが生演奏を行い、訪れた人々はお酒を片手に歌や踊りを楽しんでいました。

今年のお祭りの招待国は日本だったため、会場にはジャパンパビリオンも設置され、日本食の販売も行われていました。

また、Isla San Marcos 会場には遊園地もあり、日本では見かけないようなユニークなゲームやアトラクションがたくさんありました。観覧車にはコーヒークップのように自分で回せる小さなハンドルが座席の前についており、乗っている間に座席をくるくると回転させながら、さまざまな角度から夜景を楽しむことができました。

さらに、畜産展も開かれており、牛、豚、羊、馬など、さまざまな動物を見ることができました。滞在日数の関係で見ることではできませんでしたが、ロデオも開催されていたそうです。

お祭り以外にも、鉄道博物館や El Cristo Roto、ワイナリーなど、多くの場所を訪れました。その中でも特によかったのが温泉です。

アグアスカリエンテスという地名は、日本語で「熱い水」という意味で、その名の通り、現在でも温泉を楽しめる施設がいくつかあります。今回訪れたのは「Baños Termales de Ojocaliente」という施設で、完全個室の扉付きの部屋に大きな浴槽が設置されており、とてもリラックスすることができました。

今回の旅行では、アグアスカリエンテス在住の友人が案内してくれたおかげで、短い期間でも効率よく街の魅力を満喫することができました。



3. 広島県出身ということ

海外で生活したり旅行したりすると、現地の人から「日本のどこ出身？」と尋ねられることがあります。そこで「広島です」と答えると、高い確率で「原爆が落ちたところだね」と返ってきます。メキシコでも例外ではなく、私も何度もそのような会話を経験しました。

さらに、日本についてあまり知識のない人からは、「放射能の影響はないの？」「広島って住んでも大丈夫な場所なの？」といった質問を受けることもあり、そのたびに少しもやもやした気持ちになります。もちろん悪意があるわけではなく、関心や疑問から出た言葉であることは分

かっていますが、被爆の歴史だけでなく、そこから築かれてきた「今」の平和な広島の姿も知ってもらえたらと強く願っています。

広島出身者として、正しい歴史を伝えることはもちろんのこと、広島の文化やグルメ、スポーツなど、私自身が大好きな「広島の魅力」も、残りの滞在期間の中でしっかりと発信していきたいです。

おわりに

CEPE に通うのも残り 1 学期となりました。基本的な文法はマスターしたものの、会話の時に細かい表現ができずにもどかしいこともあるので、語彙の幅を広げ、より正確に伝えられるように努力していきたいと思います。